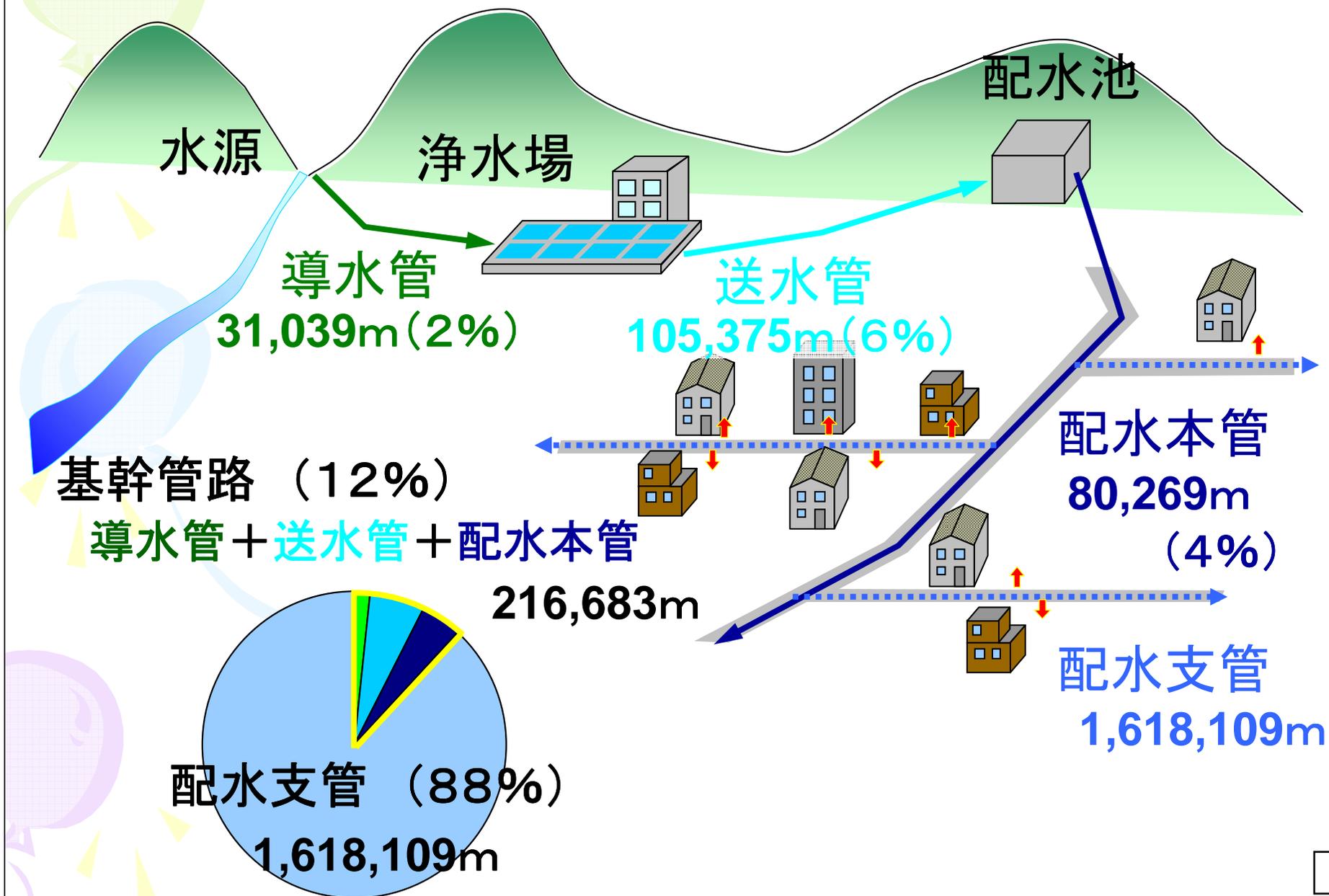


● 老朽管の解消について

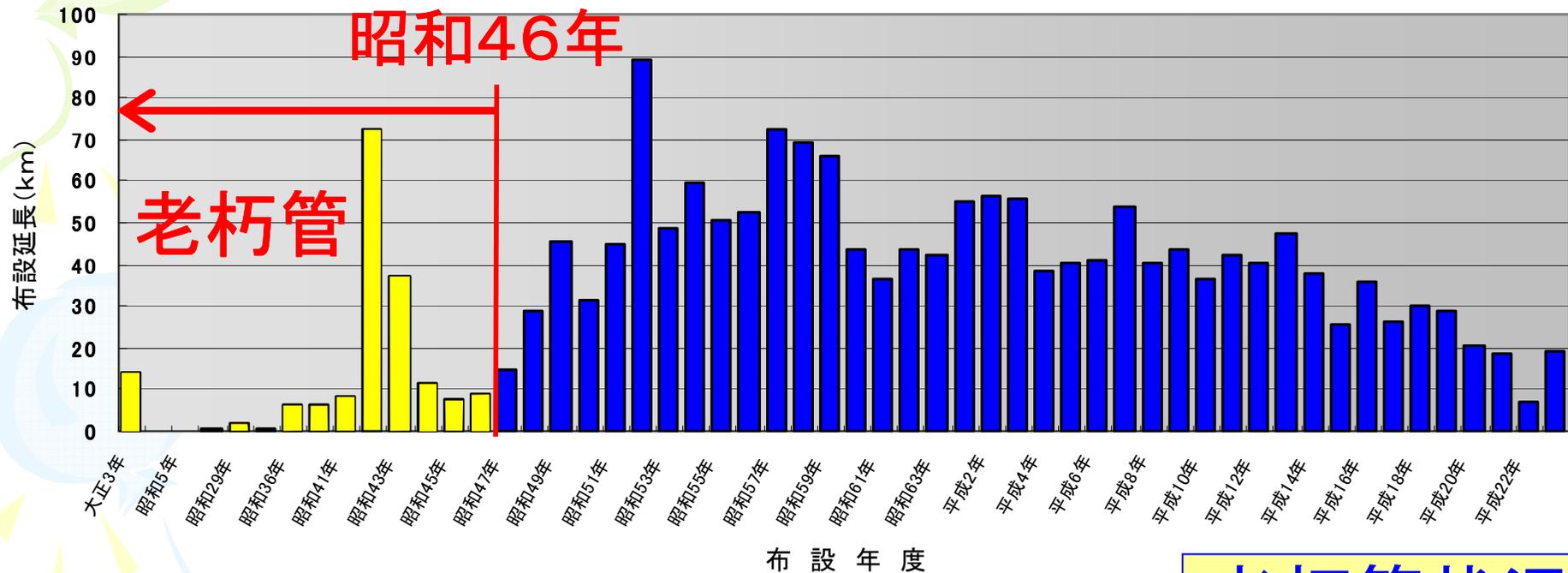
1 水道管とは



2 管路の現状

年度別布設状況

管の耐用年数 ⇒ 40年

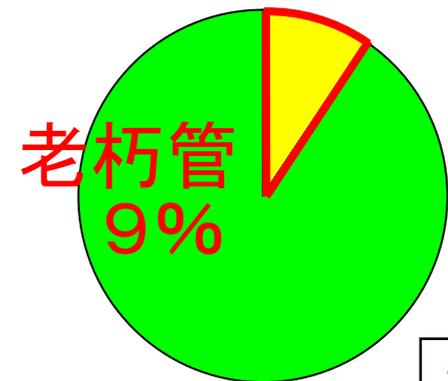


管路状況表

H24.3.31

種別	管路総延長 (m)	老朽管延長 (m)	経年化率	耐震化延長 (m)	耐震化率
基幹管路	216,683	44,509	21 %	69,854	32.2 %
配水支管	1,618,109	128,104	8 %	48,273	3.0 %
管路全体	1,834,792	172,613	9 %	118,127	6.4 %

老朽管状況



3 老朽管の状況

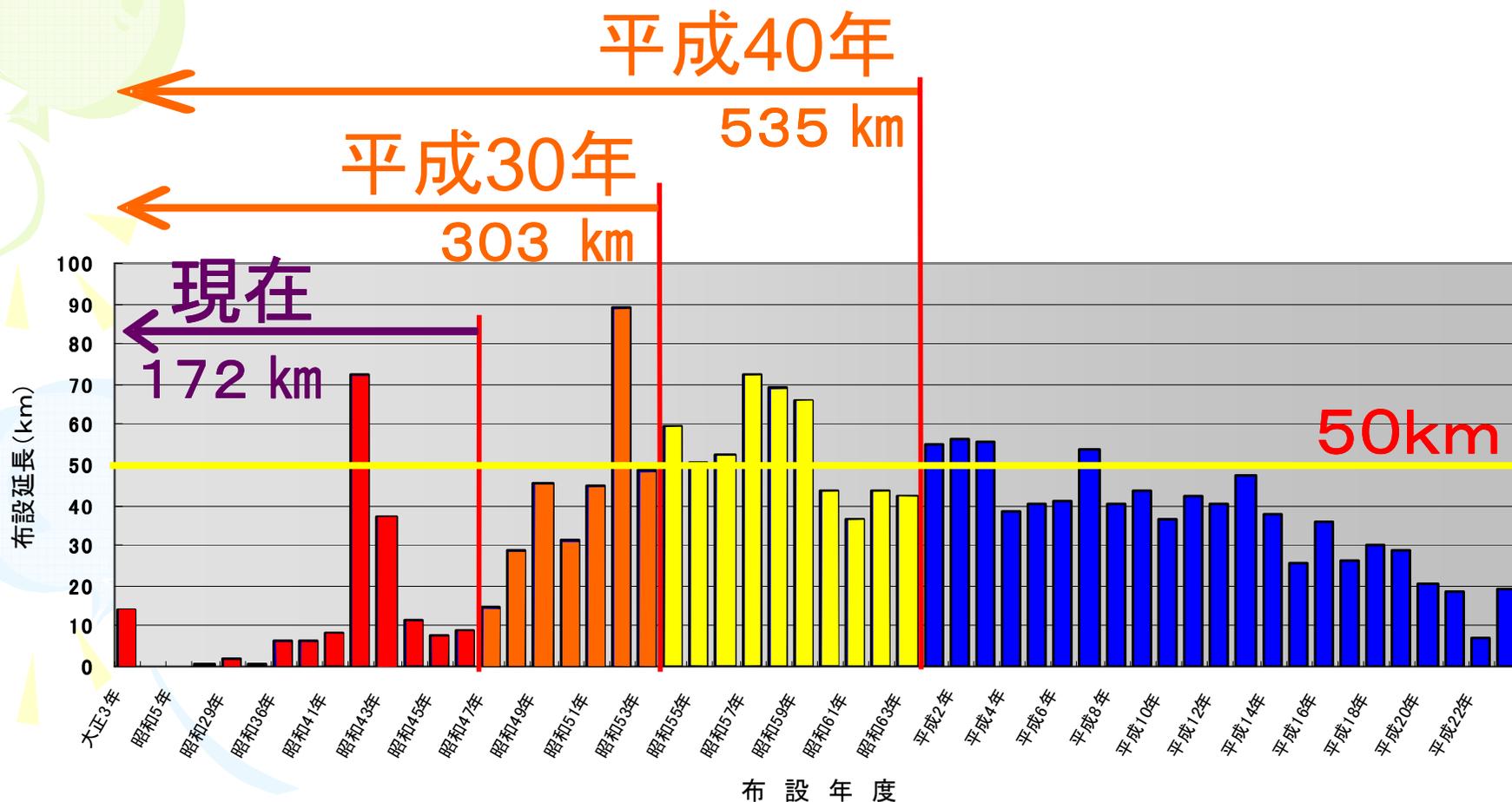


鑄鉄管 $\Phi 450\text{mm}$
(昭和29年布設)
平成17年度破裂



鑄鉄管 $\Phi 75\text{mm}$
(昭和46年布設)

4 老朽管解消の課題



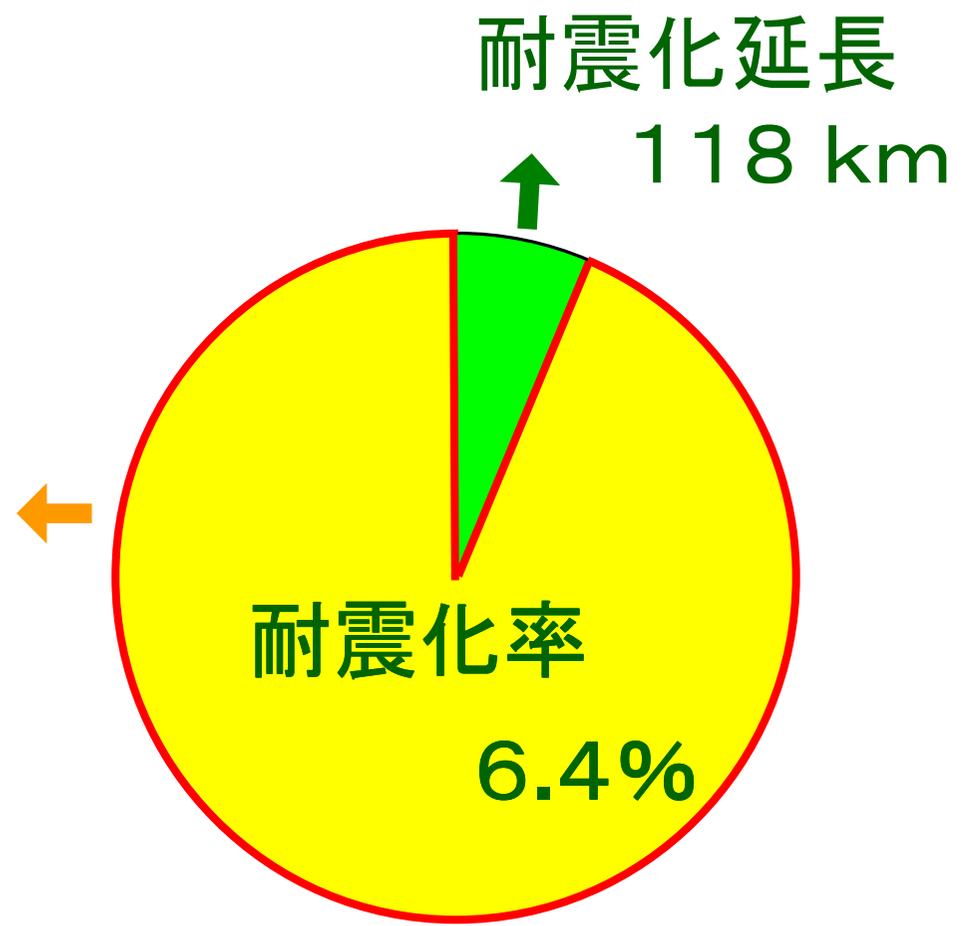
平成26年度から年間約50km増加する老朽管を解消するには年間約60億円の事業費が必要である

5 管路耐震化の課題

管路全体延長
1,835 km

未耐震化延長
1,717 km

耐震化概算事業費
1,241億円



耐震化率を1%上昇するには13億円が必要である

6 今後について

平成23年度末

老朽管解消概算事業費	1 7 4 億円
耐震化概算事業費	1, 2 4 1 億円
計	1, 4 1 5 億円

布設年度及び重要度を加味し、地理的条件から管健全度等を調査検討することにより、長期間の事業計画（30～40年）を作成する必要がある。